

# JGC STORY

## 持続的成長への道筋

### 持続可能な社会の実現に向けて取り組む社会課題

2 食糧	すべての人々への 安定的な食糧供給	世界の全体人口※1 2020年 <b>77</b> 億人 ▶ 2050年 <b>97</b> 億人
3 健康と福祉	すべての人々の 健康福祉の確保	世界の65歳以上人口※2 2019年 <b>7</b> 億人 ▶ 2050年 <b>15</b> 億人
6 水資源	水資源の保全	世界の水資源需要※3 2019年 <b>4,600</b> km <sup>3</sup> ▶ 2050年 <b>6,000</b> km <sup>3</sup>
7 エネルギー	エネルギーアクセスの向上	世界の一次エネルギー消費量※4 2017年 <b>135</b> 億 <b>1,100</b> 万石油換算トン 2040年 <b>178</b> 億 <b>6,600</b> 万石油換算トン
9 インフラ	インフラと技術革新の 基盤構築	世界のインフラ整備需要予測(2016-2030年)※5 <b>53</b> 兆ドル
11 都市	人々が安心して快適に 生活できるまちづくり	世界の都市人口比率※6 2020年 <b>56.2</b> % ▶ 2040年 <b>64.5</b> %
12 資源循環	資源循環システムの確立	世界のごみ年間発生量※7 2018年 <b>20</b> 億トン/年 ▶ 2050年 <b>34</b> 億トン/年
13 気候変動	脱炭素・低炭素化の推進	パリ協定の目標達成に必要なCO <sub>2</sub> 削減率※8 2030年まで年間 <b>7.6</b> %ずつ削減
14 海洋	海洋と海洋生態系の保全	世界の海に存在するプラスチックごみの量※9 約 <b>1</b> 億 <b>5,000</b> 万トン

### コアコンピタンス

プロジェクト遂行力
技術力
組織力
課題解決力
変化対応力
自由闊達な企業風土



日揮グループは持続可能な社会実現への貢献を通じて、  
更なる成長を目指してまいります

現在、当社グループは2021年開始予定の次期中期経営計画の前提となる、長期ビジョン「2040年ビジョン」の策定に取り組んでいます。2040年ビジョンではCSV(Creating Shared Value)を基軸とし、既存事業の変革への取り組みと同時に持続可能な社会の実現に向けて解決が求められている社会課題を羅針盤に、当社グループが保有するコアコンピタンスに照らしながら、それらの社会課題の解決に貢献しうる新たな事業領域の探索を進めています。



※今後変更される可能性があります

2040年  
ビジョン  
(2021年発表予定)

■ 出典

- ※1 UN[World Population Prospects 2019]
- ※2 UN[World Population Ageing 2019]
- ※3 IASA[Water Futures and Solution 2016]
- ※4 BP[BP Energy Outlook 2019 edition]
- ※5 OECD[Strategic Transport Infrastructure Needs to 2030]
- ※6 UN[World Urbanization Prospects 2018]
- ※7 World Bank Group[What a Waste 2.0]
- ※8 UNEP[Emissions Gap Report 2019]
- ※9 McKinsey & Company and Ocean Conservancy [Stemming the tide: Land-based strategies for a plastic-free ocean]